

小学校社会科における、「社会的な見方・考え方」を意識して働かせ、意欲的に学習に向かうことのできる児童の育成 — 教材研究シート『MKHシート』の作成と実践を通して —

長期研修員 鈴木 篤喜

研究 構想図

「社会的な見方・考え方」を意識して働かせ、意欲的に学習に向かうことのできる児童

教師の手立てと児童の意識変容

- 3 見方・考え方を判別させ記入させる。
- 2 見方・考え方を可視化する。
- 1 見方の予想と確認をさせる。

- 5 やる気と理解度を自己評価させる。
- 4 見方・考え方を使った感想を書かせる。

目指す姿

調べることに楽しいな。もっとたくさん調べたいな。

視点や方法に気付いたよ。自分でも調べられそうだ。

考え方も働かせると調べやすくなるな。

見通しがもてたよ。

どうやって調べるの？
分からないからやる気が出てこないよ。

単元を通して「見方・考え方を働かせる活動」を繰り返す

問題解決型学習の「追究する過程」において
・課題追究の活動場面
・課題解決の活動場面

教材研究にて

具体的な手立てを構想して授業へ

右の『**MKH**（見方・考え方を働かせる）シート』で児童に働かせる「社会的な見方・考え方」を事前把握
発問と教材（資料）活用について考察

発問	教材・資料	活用	見方・考え方	児童の反応	教師の手立て
1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6
2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6
3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6
4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6
5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	5-6



【児童の実態】
調べ学習のやり方が分からないよ。



【教師の願い】
授業の中で「社会的な見方・考え方」を意識させたいな。

【国・県の課題】 「社会的な見方・考え方」を働かせて深い学びを実現したい。

【MKHシートを活用した授業実践】

小学校第5学年「自然災害を防ぐ」

MKHシート（5・6年生用）

単元名	自然災害を防ぐ		
単元の課題（想定）	自然災害は地形や気候とどのような関わりがあり、国や都道府県などでは、どのような防災の取組を行っているのでしょうか。		
『見方』 参考となる 視点の例	①地理的な見方 位置・空間的な広がり	②歴史的な見方 時期・時間の経過	③公民的な見方 事象の相互関係・人々の相互関係
	④比較・⑤分類、整理 ⑥関連付け・⑦総合化	『考え方』 参考となる 方法の例	

4時間目の拡大

学習計画	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目
☆I.めあてと関係の深い『見方』	①・②	①・③	①・③	
Ⅱ.単元の課題（学習課題）や「めあて」に迫る発問				
Ⅲ.使用する教材（資料）				
☆IV.上の教材（資料）を使う方法＝『考え方』	④	④・⑥	④・⑦	④・⑤
教材（資料）活用でねらう内容				
☆実際の活動（思考）	読み取らせる	選択させる	話し合わせる	判断させる

MKHシートで考えた「発問・教材（資料）活用」を中心に、「見方・考え方」を意識・表現させる**具体的な手立て**を考える。

学習計画	4時間目
☆I.めあてと関係の深い『見方』	③
Ⅱ.単元の課題（学習課題）や「めあて」に迫る発問	◎「砂防ダム」と「ハザードマップ」の風水害における防災の役割として違いは何か？
Ⅲ.使用する教材（資料）	・P108の図、ZD資料 ・P109の図、図の資料
☆IV.上の教材（資料）を使う方法＝『考え方』	使い方 ④・⑤
☆実際の活動（思考）	判断させる

砂防ダムは災害自体を弱めたり防いだりする対策、ハザードマップは人に対する対策、また災害の事前・事後の対策の違いについて

授業中に行った「五つ」の手立て

手立て1 見通し欄

【見通し】 ※決めたものに○をつけよう！

1. 今日の授業で使う見方（注目するポイント）を予想しよう！

【地理的な見方】（位置・空間） 【歴史的な見方】（時期・時間） 【公民的な見方】（人々・事象の相互関係）

2. 今日の授業で使う考え方（考え方の方法）は？

【比較】・【関連】（題名付け）・【分類】（整理）・【総合化】

目的：見方の判別練習と意識付け
場面：めあて設定の後に使用

手立て2 可視化カードの提示

「風水害とは →」 「国・県・町の取り組み、対策はどんな時？」

夏・秋（つゆ、台風） 短時間で大雨 竜巻、突風、ゲリラ豪雨、落雷、こう水

「風水害の被害を減らす役割」

砂防ダム、ハザードマップ、遊水ダム

目的：見方・考え方の意識付け
場面：資料提示後、発問の前後で提示

手立て3 見方・考え方の判別・記入

（2）「洪水」「土砂災害」はどのような地形の場所で起こりますか？

「洪水」平地・水が陸地に流れ川が近い、沼が近い、谷。

「土砂災害」山が多く、斜面が急→勢いが増す山の本が深い山が崩れ

目的：見方・考え方の意識付け
場面：個人追究の前後で判別・記入

公民的な見方を使ったら、住民や自然と関わり方の違う対策が分かった。防災対策をもっと知りたいな。

手立て4 感想欄・5 自己評価欄

【振り返り】 ※振り返ったときに思ったことやわかった（できた）ことなどを書いてみましょう

1. 見方・考え方を使ったら、

2. 学習へのやる気

3. 学習のわかり具合

自己評価

目的：見方・考え方を働かせた実感とその効果の表出
場面：まとめの後の振り返りの時に一緒に記入

【児童の振り返り】

見方・考え方を使ったらハザードマップの役割が分かったよ。

成果：教師がMKHシートを活用した手立てを講じることで、児童は自ら「社会的な見方・考え方」を働かせ、問題解決型学習の**視点と方法を習得**し調べられるようになった。これにより調べることの**楽しさを感じ学習意欲を高めた**と考える。

課題：更に追究したい児童や見方・考え方の理解が不十分な児童など、児童の**実態にあった手立て**を考える必要がある。

提言：意欲的に学習に向かうことのできる児童を育成するには、MKHシートの活用を中心として手立てを講じ、それをもとに授業を継続することが有効である。また、意欲的に学習に向かうことができた児童は、主体的に学び、更に深い学びへとつながるであろう。